

立川緑 高等学校 令和8年度 教科

人間と社会

科目 人間と社会

教科： 人間と社会

科目： 人間と社会

単位数： 1 単位

対象年次： 1 年次

使用教科書： (人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版)

教科 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】

社会の一員として、社会を見て課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題発見と解決の過程で、そのための基礎的知識、技能を踏まえて、探究の意義や価値を理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

ひろく社会や日々の生活と自己との関わりから課題を見だし、その解決策を考え、その解決のために、情報を集め、整理・分析し、その結果をまとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

探究活動を通じて、主体的に取り組むだけでなく、仲間の意見を尊重し協働的に活動に取り組むとともに、新たな解決策や新たなスタンダードを創造し、探究学習だけではなく、自らが一員である社会をよりよく変えていこうとする態度を養う。

科目 人間と社会

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学校生活、身近な地域やひろく社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、課題の発見、解決に必要な知識及び技能を身に付け、それらを通じて、学校、地域や社会の特徴やよさと自らの関係に気付くことができる。	学校生活、身近な地域やひろく社会の人、もの、ことと自分自身との関係から課題を見だし、その解決のために調査し、その情報を分析し、仮説を立てる力を身に付けるとともに、その結果を、まとめ・表現する力を身に付ける。	地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度を育てる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
人間と社会～学習の視点～ ・「人間と社会」の目標と授業内容を理解する。 ・自分を振り返り、目標を設定する。	* 指導事項 ・ 人間と社会の目標・学習活動内容の理解 ・ 自己理解 * 教材 ・ 教科書・ワークシート・ルーブリックシート	【知識・技能】 人間と社会の目標と学習内容について理解している。 【思考・判断・表現】 学習内容についての理解を基に、自己分析をツールを使いながら行い、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己分析について、ツールを使いながら積極的に把握等の学習活動をおこなえる。	○	○	○	1
第12章 支えあう社会 ・ 人生におけるリスクを考え、共助や公助の制度や役割について整理、理解し、知識・技能の定着を図る。 ・ 自己と社会との関わりから必要な情報を集め、分析、広い視野から多面的・多角的に考察する。 ・ 自らが一員である社会のさまざまな課題の解決のために、周囲の仲間と協働して、積極的に取り組む。	* 指導事項 人生のリスクを把握する。 リスクにどう備えるか（自助）、それを支える共助・公助についての理解 視覚障害への理解～ブラインド学習（体験） 車いす利用者への理解（体験） * 教材 ワークシート等	【知識・技能】 人生におけるリスクとそれを支える共助・公助、それらを活用した自助についての知識・技能が身に付いている。 【思考・判断・表現】 自己と社会との関わりから、情報を収集し、分析し、自らの考えを表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決のために、積極的に情報収集、分析活動をし、仲間と協働して取り組める。	○	○	○	6
前期 第5章 マナーとルール ・ 自己と実生活や実社会との関わりから、課題発見、解決に考察に必要な知識を身に付け、解決する。 ・ これからの社会に対応していくために、自己と社会との関わりから必要な情報を集め、整理・分析、広い視野から考察し、発表する。 ・ 集団生活の中で、人間としてのあり方生き方に対する自覚を深めるとともに、自己のよさを発見し、前向きに取り組む。	* 指導事項 ・ 「マナーやルール」に対する都民意識調査をみて考えをまとめる。 ・ 「マナーとルール」の違いについて理解させ、マナーの役割について考えさせる。 ・ ルールが社会ではたしている機能について理解し、その理想的なあり方について考える。 ・ マナーポスターを作る。（体験：4時間：9月実施） * 教材 ・ 教科書、ワークシート等	【知識・技能】 実社会・実生活のグラフやデータを解釈・分析でき、それを整理できる基礎的な知識・技能が身に付いている。 【思考・判断・表現】 「知識・技能」で得た自分の考えを整理・分析し、他者に分かりやすく説明しようとしている。学習活動の成果の発表を通して、自己の考えをわかりやすく伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 演習での話し合いや体験活動を通して、実社会・実生活に積極的に参加し、意欲的に貢献しようすることができる。	○	○	○	6
第8章 チームを動かす力 ・ 「リーダーシップ」や「チームの運営」について、既存の知識と、この章で新たに得た知識や話し合いの中で得られた他者の考えを通じて、さらなる新しい知識を定着させる。 ・ 多様な価値観が存在することを体験的に学んで、「社会参画・公共の精神」について、自己の考えを深め、他者を尊重する探究活動を行う。 ・ ホームルーム等集団の中で、体験活動に主体的・協働的に取り組む。	* 指導事項 ・ 立川ダイスと地域の中の立川ダイスについて学ぶ。 ・ 立川ダイスの講演や交流 ・ 立川ダイスの講演や交流を踏まえた事後学習 * 教材 ・ 教科書、ワークシート等 立川ダイスとの交流等 * ICT機器の活用 ・ 生徒端末の活用	【知識・技能】 既存の知識と新たに得られる知識、他者から得られる知識をもとに、さらなる新しい知識を身に付けられた。また、そのための技能が身に付いている。 【思考・判断・表現】 自分の考えを深め、他者を尊重することを、課題発見・情報収集・整理分析・解決案の提示と他者の意見交換などを通じて身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 立川ダイスの講演・交流などの体験での話し合いや体験活動を通して、積極的に参加し、協働的に取り組んでいる。	○	○	○	5

<p>第17章 グローバル化が進展する社会</p> <p>・「グローバル化」についての文章を読み、グローバル化等についての情報収集・整理・分析・話し合いなどの過程（技能）を通じて、既習事項に加えて、新しい知識を身に付ける。</p> <p>・自己とグローバル化が進展する社会との関わりから必要な情報を集め、整理・分析、広い視野から多角的・多面的に考察、その内容を意見として発表討論する。</p> <p>・ホームルーム集団の中で、外国人との交流等の体験活動を通して、文化や生活習慣の違い、コミュニケーションの取り方などに前向きに取り組む。</p>	<p>* 指導事項</p> <p>・グローバル化についての文章を読み、そこからグローバル化、グローバル人材等について、理解する。</p> <p>・グローバル化が進む社会で必要なことは何か、それを身に付ける為のすべきこと等について考察する。</p> <p>・グローバル化が進行する社会における身近な外国人（JET）との交流（「やさしい日本語」でのコミュニケーション）を学ぶ。（体験）</p> <p>・グローバル化の進展する社会の中で日本文化等（和室マナー）について学ぶ。（体験）</p> <p>・社会貢献について、国際社会でも通用する柔軟で幅広い考え方を鍛える。</p> <p>* 教材</p> <p>・教科書、ワークシート等</p> <p>* 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会のワークショップ</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>グローバル化が進展する社会の中では、身近に、様々な人種・生活習慣、文化があることに気づき、その特徴を学ぶためのスキル（コミュニケーション等）を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>様々な生活習慣・文化的背景がある人々について、情報を収集し、整理し、自らの違いを踏まえて、他者と共有し、互いに尊重しあうて交流しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>グローバル化が進展する社会で、様々な生活習慣、文化的背景がある人々と積極的に交流し、互いの理解と尊重する態度が身に付いている。</p>	○	○	○	6
<p>第4章 役割と責任</p> <p>・社会参画・公共の精神の道徳的価値を理解するために、自己と実生活・実社会との関わりから、新しい価値を見出し、考察に必要な知識を身に付けたり、そのために情報を整理・分析する技能を身に付ける。</p> <p>・これからの変革する社会に対応していくために、様々な情報を集め、整理・分析し、自らの意見を発表して、他者と討論する。</p> <p>・社会の一員として主体的に行動するために、多様な価値観が存在することを体験的に学び、自他の意見や立場を尊重する態度を養う。</p>	<p>* 指導事項</p> <p>・集団の一員として、ペア・グループで意見交換するなど、生徒が自らの意見を発表しやすく段階を踏んだ環境を作る。</p> <p>・教材にあるコラムを使って、自分の「役割と責任」について考え、なぜ、そう考えるのかの根拠および、考えられる反論も予想し、それに対する回答を考えさせる。</p> <p>* 教材</p> <p>・教科書、ワークシート等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>情報を読み取り、整理・分析すること、そして、ケーススタディに取り組む中で、これまでに学んだことを生かして、話し合いを進め知識・技能の定着ができていく。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自ら情報を収集し、整理・分析したものをもとに考察した内容を意見や文章としてまとめるなど表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自らが社会の一員として課題解決を図って、よりよい社会を実現するために、積極的に課題を発見し、解決に取り組む態度ができていく。</p>	○	○	○	4
<p>第11章 消費市民社会</p> <p>・自らが属している社会において、児童・低賃金労働問題・環境汚染・持続可能な社会の実現に向けた世界の動きに関する知識を身に付ける。</p> <p>・「公正・公平・社会正義」の道徳的価値を自分のものとするために、生徒自ら、あるいは、他者と協働して、情報収集しそれを整理・分析、自他の立場や意見の違いに気づく。</p> <p>・自らが構成する社会の一員として、「公正・公平・社会正義」の道徳的価値を実現するために積極的に解決策を提案し、他者との協働で解決する態度を養う。</p>	<p>* 指導事項</p> <p>・自分たちの消費行動を振り返り、自分たちが消費活動で優先していること、最近購入した製品の産地や労働背景について考える。</p> <p>・エシカル消費とSDGsについて学び、世界でなぜエシカルな消費者の視点が求められているのかを考え、自分の消費活動が環境や社会に及ぼす影響を考えさせる。</p> <p>・家計管理とライフプランニング、お金の使い方、お金の貯め方・増やし方、お金の備え方（保険など）について基礎的知識を学ぶ。</p> <p>・ローン・クレジットカード・残クレなどの知識や、お金を借りる仕組みや金融トラブルの防ぎ方などの基礎的知識を学ぶ。</p> <p>* 教材</p> <p>・教科書、ワークシート等</p> <p>* 育て上げネットプログラム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>「社会や環境に配慮した消費者」について考える過程で、調べ、話し合うなかで、新しい知識を身に付け、様々な考えと出会い、それらを取捨選択して既存の知識と結びつける力が身に付いている。また、金融教育面では新たな知識を理解し、自分のものになっている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>他者との交流や討論の振り返りを通じて、生徒がこれまでもっていた課題を深めたり、新たな情報収集を行い、整理・分析する過程を通じて、意見や考えが深まり、新たな課題の発見・解決案の提案ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自ら、または、他者と協働して、課題発見や課題解決の方法を見出すことに前向きに取り組んでいる。</p>	○	○	○	6
<p>第13章 地域社会を築く</p> <p>・地域社会との関わりについて、これまで学んだ、立川ダイスの講演や交流で学んだこと、学校に来ている育て上げネットなどを入り口にして、自治会やNPO法人など地域で活動している様々な団体や個人について情報収集して、理解する。</p> <p>・情報収集し理解したことを受けて、その内容を整理し、考察し、大社との情報交換を図るために、自らの意見を他者に説明し、討論する。</p> <p>・自らの意見を発表し、他者の意見を聞く過程で、さまざまな価値観や判断基準を知り、社会に貢献しようとする態度を養う。</p>	<p>* 指導事項</p> <p>・立川ダイスの講演や交流について再度整理し、その後の調査で判明したことを加える。また、育て上げネットについても情報収集し、その活動内容を地域者かとの関りの中で理解する。</p> <p>・地域のNPO法人・自治会など地域を支えている様々な個人や団体を調べて、地域社会との関係で理解する。</p> <p>・以上の結果を受けて、自らが住んでいる地域の中で、自らはどのような役割を果たしていけるかを考えさせる。</p> <p>* 教材</p> <p>・教科書、ワークシート等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>立川ダイスや育て上げネットの活動と地域社会との関り、地域者かにおける役割について理解し、そのために情報収集し、分析するなどの技能が身に付いている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>地域の中におけるNHP法人・自治会・スポーツ団体などの活動や意義について様々な情報を踏まえて自らの意見をまとめ、発表できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>様々な探究活動を通じて、自らの問題として課題を発見し、解決方法導き出すために主体的に考え、行動することができる。</p>	○	○	○	4
<p>人間と社会～これからの生き方～</p> <p>・1年間学んだ内容の振り返りを行う。</p> <p>・自らの1年間の目標達成と成長の振り返りを行う。</p>	<p>* 指導事項</p> <p>・1年をかけて学んできたことの中から、自らが興味関心をもった事項を取り上げ、再度、調査し、情報を整理・分析する。その結果を踏まえ、自らが主体となって取り組むとしたら、どのように計画・実施・評価・改善を図るかをまとめて、発表する。</p> <p>* 教材</p> <p>・教科書・ワークシート・ルーブリックシート</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>これまで学んだ内容から自らが取り上げたテーマについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>自らが選んだテーマについて再度調査、整理、分析して、自らの意見をまとめることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>以上の過程において、積極的に取り組むことができる。</p>	○	○	○	1
						合計
						39

後期